

二三二五番

誰が園たそのの梅うめの花はなそも ひさかたの 清きよき月つき夜よに
ここだ散ちり来くる

二三二六番

梅うめの花はな まづ咲さく枝えだを 手た折をりてば つとと名な付づ
けて よそへてむかも

二三二七番

誰たが園そのの梅うめにかありけむ ここたくも 咲さきて
あるかも 見みが欲ほしまでに

二三二八番

来きて見みべき 人ひともあらなくに 我わが家へなる 梅うめの
初はつ花はな 散ちりぬともよし